議会
だより

あしや 町

NO. 195

平成 29 年 11 月 15 日発行
福岡県芦屋町議会

もくじ

9月定例会

- 28年度こんなことに使いました P 2～
- 地方創生（28年度決算） P 4～
- 5人が町政を問う（一般質問） P 9～
- 町かどインタビュー P 16

あしや砂像展2017
撮影協力：デジタルカメラ・パソコン同好会
(平成29年10月27日撮影)

9月定例会（9月7日～20日）

第3回定例会が、平成29年9月7日から20日までの14日間の会期で開催されました。8日に行われた一般質問では、5人の議員が登壇しました。
条例、補正予算、決算、意見書など20議案を審議しました。

使いました！

高齢者配食サービス

830万円

中央病院外周道路工事

5490万円

27年度

28年度

夏井ヶ浜海岸崩落防止工事

県事業負担金

300万円

28年度 こんなことに

活力ある町づくりを

を上げることが目的としています。
「人口ビジョン・総合戦略」に基づき事業を行っています。

事業を紹介★

万円（前年度比8億9286万円減）、
4914万円減）となりました。

歳出

基金（貯金）の残高は、41億7319万円（前年度比1億5461万円減）で、町債（借金）は、76億7045万円（前年度比3億2249万円増）です。

28年度の決算状況

会計名	歳入額	歳出額	結果
一般会計	74億4098万円	71億6485万円	賛成多数
<small>注1</small> 地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計	12億9514万円	12億9514万円	賛成多数
国民健康保険特別会計	19億9780万円	19億1393万円	満場一致
後期高齢者医療特別会計	2億1404万円	2億836万円	賛成多数
国民宿舎特別会計	1億3064万円	1億2529万円	賛成多数
給食センター特別会計	1億3374万円	1億3177万円	満場一致
モーターボート競走事業会計	858億3949万円	847億3881万円	賛成多数
公共下水道事業会計	7億2546万円	6億9066万円	満場一致

※注1 地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計
中央病院の町債借入や、借り入れた町債の返済を行うための会計です。

28年度 決算

地方創生で

地方創生とは・・・

地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力
芦屋町では「芦屋町 まち・ひと・しごと 創生」

★主な地方創生

一般会計決算は、歳入 74 億 4098 万円、歳出 71 億 6485 万円（前年度比 8 億 4098 万円増）

歳入

町税などの自主財源が約 39%、地方交付税や国庫支出金などの依存財源が約 61%でした。なお、自主財源のうちモーターボート競走事業会計からの収益金は 4 億円でした。

主な歳入の推移

	H26	H27	H28
町税	12億1448万円	12億901万円	12億3786万円
地方交付税	19億6540万円	20億5051万円	19億6827万円
町債	10億5522万円	11億7195万円	8億9269万円
国庫支出金	12億6486万円	13億8985万円	14億601万円
その他	19億2500万円 うち競艇事業からの収入6億円	24億5852万円 うち競艇事業からの収入4億円	19億3615万円 うち競艇事業からの収入4億円
合計	74億2496万円	82億7984万円	74億4098万円

どんなことに使われたか（歳出）

平成28年度一般会計決算

(賛成多数・認定)

質疑

◆プレミアム商品券

問 売れ行きが良くないようだが、その要因は。

答 商工会から明確な回答を得たわけではないが、利用範囲、補助率、利用限度額等が考えられる。

◆巡回バス

問 芦屋中央病院の移転に伴う巡回バス等の在り方は。

答 現在、芦屋町地域公共交通網形成計画に基づき協議を行っており、条例改正などの議案を12月議会に上程する予定である。

◆ふるさと応援基金

問 ふるさと応援基金の使途は。

答 保安林松の植樹や図書購入、ブックスタートの絵本、成人式の記念品、芦屋釜の里工房内の手動リフター、花火大会等に使った。

平成28年度国民宿舎特別会計決算

(賛成多数・認定)

質疑

問 国民宿舎は赤字経営となっているが、町の関与はどのようになっているのか。

答 熊本地震等の影響もあり新規事業者にとっては厳しい経営状況となった。月1回の経営会議の中で町の要望等を提示していく。

平成28年度後期高齢者医療特別会計決算

(賛成多数・認定)

反対討論

【元の老人保健制度に戻すべきだ】

川上誠一議員

福岡県後期高齢者医療広域連合の保険料は7万6522円となっており全国でも6位の高い保険料となっている。

保険料滞納者に対する短期証への切り替えは2506件、差し押さえは161件となっている。以前の老人保健制度の時は保険証を取り上げることがなかった。

後期高齢者医療は廃止し、前の老人保健制度に戻すべきだ。

平成28年度モーターボート競走事業特別会計決算

(賛成多数・認定)

質疑

問 事業会計の基金を含め保有金はいくらか。

答 28年度末で約89億円である。

反対討論

【非開示の状況では賛成しかねる】

妹川征男議員

24年9月議会において、無償譲渡契約書を非公開にしてモーターボート競走事業会計を審議するなど無責任であると反対した経緯がある。

町は、今なおボートピア勝山の無償譲渡契約書を議会運営委員会委員のみ開示したままで、差別的扱いを行っている。議会軽視も甚だしく、その疑惑を感じる。

非開示した状況では議案に賛成しかねる。

契約等

国民宿舎空調等改修工事(機械設備その1)請負契約の締結

(満場一致・可決)

落札業者…九州機電(株)
入札価格…約1億643万円
工期…9月28日～30年3月31日

質疑

問 工事内容は。

答 空調設備を全館型から個室型への変更と給湯管設置工事。

問 大型工事のため町内業者が参入できないのではないか。

答 落札業者へ「町内業者確保について」のお願いを行っている。

消防ポンプ自動車購入契約の締結

(満場一致・可決)

落札業者…(株)福岡トーハツ北九州営業所
入札価格…約2146万円

補正
予算

九州北部豪雨義援金として 150 万円を計上

区長会から 5 万円

一般募金から 70,440 円の義援金

歳出の主な内容

補正のあった歳出の主な内容	補正額
汐入川改修事業負担金 (県が実施する汐入川改修工事の町負担金)	200 万円
中古住宅解体後の新築住宅建築補助金	500 万円
九州北部豪雨義援金	150 万円
正門町特定空家解体工事費 (特定家屋とは倒壊や保安上危険な状態又は衛生上有害となる状態 で適切に管理されていない家屋のこと)	—

歳入では、社会資本整備総合交付金 106 万円と財政調整基金繰入金 693 万円の増額措置をしています。また、歳出では汐入川改修事業負担金 200 万円、九州北部豪雨義援金、正門町特定空家解体工事費等を増額措置し、総額 800 万円の増額補正です。(満場一致・可決)

解体前の特定家屋

◆正門町特定空家解体工事
問 所有者が特定できないのか。また解体の理由と土地所有者の解体の責務は。
答 家屋の所有者が特定できない。通行上危険で地域住民からの要望もあり、法律に基づき略式代執行として芦屋町が解体する。土地所有者には法的な責務がない。

道路整備に必要な予算確保に関する意見書
(賛成多数・可決)

道路整備の国庫補助負担率をかさ上げする措置が 29 年度までの期限措置となっている。かさ上げ措置が期限切れとなれば地方自治体の財政に悪影響を及ぼす恐れがあるため、道路整備に必要な予算の確保を強く求める。

賛成討論

【町の負担を増やさない】

田島憲道議員

道路の修繕や整備する事業に国からの補助金が出ているが、今、特別に時限措置により、町道は、29 年度末までは、7 割を国が負担している。来年度からは、5 割にまでと、以前のように戻ってしまう。これを継続しようという意見書である。これがなされなければ、これから町の負担がふえてしまうので賛成する。

反対討論

【国が落ち着いたときに出すべき】

横尾武志議員

芦屋町は道路が少し悪くなっても死活問題にはならない。国は今、災害にもっと支援するべきである。芦屋町もいつ災害が起こるか分からない。何もないとこまで議員立法で予算を延長することは考えなければならぬ。状況が落ち着いたときに行うべきであり、今、この意見書を出すことは時期尚早である。

総合運動公園入口の交差点周辺

指定管理者の指定

(満場一致・可決)

山鹿保育所の管理運営を行う指定管理者を指定する。

指定管理者…社会福祉法人清心会
指定の期間…30年4月1日～35年3月31日

質疑

問 応募者は何者か。また、指定管理期間が満了した後、指定管理者へ無償譲渡すると聞いているがその内容は。

答 1者のみであった。サービスの提供など良好な状態で指定管理を行った場合、期間終了後は、建物は無償譲渡し、土地は10年間の無償貸与の予定。

問 なぜ無償譲渡するのか。

答 長期に安定した経営ができる。(職員確保等) また、私立であれば国県の補助金が活用でき、町の財政負担軽減につながる。

9月定例会意見が分かれた議案の賛否一覧

表決にあたり、意見が分かれた議案の賛否について掲載しています。掲載のない12議案は、満場一致で可決されました。 ○賛成、×反対、欠は欠席を表しています。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	賛成	反対	審議結果
議案名 / 議員名	内海	松岡	今田	刀根	妹川	貝掛	田島	辻本	川上	松上	横尾	小田			
平成28年度芦屋町モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	10	1	可決
平成29年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	10	1	可決
平成28年度芦屋町一般会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	-	9	2	認定
平成28年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	10	1	認定
平成28年度芦屋町後期高齢者医療特別会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	-	9	2	認定
平成28年度芦屋町国民宿舎特別会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	10	1	認定
平成28年度芦屋町モーターボート競走事業会計決算の認定	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	-	10	1	認定
道路整備に必要な予算確保に関する意見書	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	×	-	8	3	可決

議長には、賛否の意思表示をする表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数になった場合、可否を決める裁決権があります。

行政報告

行政報告とは・・・
町長が議会を通じて町の重要な問題の経過等を住民に報告するものです。ここでは、平成29年7月から9月までの行政報告の一部を掲載しています。

松枯れ対策に関する要望について

筑前海沿岸に位置する福岡県内の四市五町で構成する松林保全対策協議会は、当地域の財産である松林の保全や再生に資する活動として、毎年、国や県への要望活動を行っています。8月22日に、管内選出の衆議院議員、財務大臣、林野庁長官などに対して、松枯れ被害による松林の早期再生や、松くい虫駆除・防除等について、芦屋町をはじめとした首長が要望書を提出しました。

松の植樹の様子

一般質問

町政を問う

9月8日に議員5人が一般質問を行いました。

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点をたずねることです。質問する議員は、事前に質問通告書を提出し、本会議において1人60分の制限時間内で質問を行っています。

議会だよりでは、質問した議員が自ら記事を作り掲載していますが、紙面の都合上、要約しています。一般質問の会議録は、議会事務局や芦屋町ホームページで閲覧できます。

ページ	質問議員	質問事項
10	松岡 泉	◎水害の防災対策 ◎PCB廃棄物の処理
11	川上 誠一	◎芦屋基地滑走路延長事業計画 ○国保税等の滞納処分
12	刀根 正幸	◎安心して暮らせる社会づくりに向けて
13	妹川 征男	◎芦屋基地滑走路延長 ◎国民宿舎マリントラスあしや ○地方独立行政法人芦屋中央病院
14	田島 憲道	◎海浜公園の夏季駐車場料金 ○芦屋町「ふるさと名物応援宣言」 ○地域の安心・安全を確保する防犯カメラ整備 ○ふるさと納税制度に対する返礼品

◎：記事掲載あり ○：記事掲載なし

豪雨被害に対する一番のポイントは何か

総務課長

住民の生命を守るには早めの避難が一番大事である

まつ松 おか岡 いずみ泉

水害の防災対策

議員 九州北部豪雨の際、7月7日に町周辺では、午前3時からの5時間で166ミリメートルの降水量を観測した。被害はどうであったか。

課長 人的被害はなかったが、床上浸水2件、床下浸水2件、道路冠水による通行止め12か所、崖崩れ2カ所、土砂流出1か所、車両水損2カ所や大君の町宮住宅付近の冠水等の被害があった。

議員 住民が行政機関等から災害情報を得た場合、行動する上で最も重要なポイントは。

課長 情報を出した中で、避難をいつ開始するかが重要となる。日頃から地域の皆さんと話し合い、自分がどの段階で避難行動を開始するか決めておく必要がある。短時間記録

一般質問

視察関係

九州北部豪雨で冠水した競艇場駐車場 (H29.7.7 撮影)

的大雨警報が発令されたときなどは速やかな避難行動が一番大事である。

PCB廃棄物の処理

議員 27年11月に芦屋小学校の屋外倉庫からカネミ油症事件で知られる有害物質PCBを含有する機器が、ドラム缶4本に収まっているのが発見

された。機器の種類とPCB含有量は。

課長 機器は高圧コンデンサーと蛍光灯安定器、PCB含有量は、機器1キログラム当たり5000ミリグラムの高濃度である。

議員 関係法には、廃棄物の保管基準が定められているが、その保管状況は。

課長 周囲に囲いを設け、飛散、流出、地下浸透等がないように、法に基づいた管理を行っている。

議員 PCB廃棄物の処分計画は、どのようになっているのか。

課長 29年10月末までに、運搬、処理まで全て完了する予定である。

かわ川 かみ せい いち
川 上 誠 一

滑走路延長の本質は基地機能の強化ではないのか

総務課長

T4訓練機の安全性確保等と説明があった

基地滑走路延長事業計画

議員 説明会の回数及び参加者の数は。

課長 12回行い、延べ161名の参加者のうち町民は30名程度。

議員 住民の参加が十分でなく、6300本の保安林が伐採され、保全措置として防潮柵を設置し塩害被害を軽減するとしているが、農業者の理解は得ているのか。

課長 九州防衛局が農業者の方に説明し、理解をいただけたと認識している。

議員 新聞報道では「防風林滑走路延長は基地機能の強化」となっている。町は説明責任が果たされたと考えているのか。

課長 参加者は少ないが、可能な範囲で行っている。

滑走路延長後の完成イメージ

ので現時点ではできない。

議員 滑走路延長の本質は基地機能の強化では。

課長 T4訓練機の安全性確保とU125A救難機の搜索範囲拡大と説明があった。

議員 防衛省は今までT4がバリアに突っ込んだ事故はないと説明している。U125Aの救難部隊は航空総隊に編入され、航空戦闘部隊に発展し、国防上の重要な役割を果たしている。C1輸送機が飛来しているが、何回来ているのか。

課長 3年間で60回程度、飛来している。

議員 C1輸送機は大型化したC2、C130Hに機種変更が進められ、騒音被害が考えられるが、芦屋基地の滑走路で使用可能なのか。

課長 現在の滑走路でも離着陸は可能である。

議員 23年定例会の私の質問に町長は「計画案が出た時には報告会や現地調査を行う」と答弁されている。説明会や現地調査を行うべきではないか。

町長 現地調査は行っていないが、説明は十分している。

議員 松伐りは保安林解除の同意が必要だが対応は。

課長 農事組合の要望事項等の提出がされていない

災害者の目線でお互いが信頼できる町づくりを進めるには

とねまさゆき 力根正幸

総務課長

先進事例等を参考に制度の見直しを調査・研究していく

安心して暮らせる社会づくりに向けて

議員 自治防災組織について届出をしていない地区に対してどうするのか。

課長 30自治区のうち、26区が組織化され、4区が未届である。組織作りを今後もお願ひし、必要に応じ支援する。

議員 災害に対する議会への情報提供はどのように行っているのか。

課長 大規模災害は、災害対策本部が設置され、その会議に議会事務局長を含む。本部の情報は局長を通じて議員に連絡されるが、方法は今後議会事務局との協議が必要。

議員 災害後の対応はどのような制度で行っているのか。またその内容は。

課長 災害弔慰金の支給に関する法律、災害弔慰金

及び見舞金に関する条例に基づき行っている。法律では自然災害により被害が生じた場合に災害弔慰金や災害障害者見舞金に関する支給を行い、町の条例では、国の法律に該当しなかったケースでも見舞金として支給している。

議員 社会福祉協議会において貸付制度として県の融資制度があると聞かすが、その概要は。

課長 生活福祉資金として、災害を受けたため臨時に必要な経費について貸付がある。使途を定めていない緊急小口資金は10万円まで、主に住まいを確保すること等を目的にした福祉費として150万円までの融資制度がある。これらまでの手続は社会福祉協議会で行える。

議員 町にも災害における融資制度はあるのか。

九州北部豪雨での田屋周辺の被害状況 (H29.7.7 撮影)

課長 16年度までは商工融資以外に農業融資や火災、風水害、地震等の復旧にかかる利子補給等を実施していたが、17年度から現在の商工融資のみとなった。

議員 災害対策においても被害者目線で、もっと研究していくべきと考えるが。

課長 大型化する風水害に対し調査・研究を行い、被害後の支援を含め郡内や他市町村を参考にすることが必要がある。

お 男 征 川 妹

農事組合だけでなく、関係自治区ごとに説明会をするべきだが

町長

防風保安林解除の説明会であり、騒音に関しては次元が違う

芦屋基地滑走路延長

議員

町長は、住民説明会は手順を踏んでいるというが、栗屋、大城農事組合だけでなく、防音装置工事エリアの栗屋、大城、浜口、高浜、正門町、そして騒音がひどい江川台区を自治区ごとに説明会を行う必要があると思うが。

町長

塩害防止の防風保安林解除の説明会であり、農事組合の承諾がないと解除できない。滑走路延長による騒音等に関しては次元が違い、別で問題提起する必要がある。

国民宿舎マリントラスあしや

議員

国民宿舎は直営方式から指定管理者制度方式へと移行したが、その目的は。

課長

ホテル事業に精通した事業者のノウハウを活

かした住民サービスの向上、人件費及び管理運営費を削減することによって町の行政コストの軽減を図る。

議員

労務管理について問う。職員数、離職者数及び離職が多い理由は。

課長

29年4月1日の職員数は36名。29年1月から8月末までの離職者総数は19名、離職率は48%。理由については具体的にわかっていない。

国民宿舎マリントラスあしや

議員

本年7月従業員Kさんは公務中に客同士の暴力事件に巻き込まれ負傷。その客を傷害事件として告訴するとともに支配人の責務に対し労働基準監督署に調査依頼している。また、Kさんは本社長に事実経過を直訴。これらのことについて聞いているか。また支配人の採用経緯は。

課長

聞いてはいるが、結果は承知していない。4月1日から採用された契約社員である。

議員

19名の離職者がいることは異常である。町は労務関係の実態を把握し改善しなければ、経営危機に陥る可能性がある。よって指定管理制度方式から直営方式に戻すべきである。納入金と純利益は。

課長

28年度の町への納入金は約2500万円、指定管理者の収支損益はマイナス約2800万円。

議会広報委員会視察レポート

より興味を引く文書作成

9月定例会

日程：9月28日～29日

視察先：埼玉県小川町・平成29年度町村議会広報研修会（シェーン・バツハ・サポー）

視察者：川上誠一・内海猛年・妹川征男・刀根正幸・今田勝正・松岡泉

小川町

平成28年3月定例会から議会だよりをリニューアルし、デザインを一掃された。目を引く表紙にするため、目次だけではなく、そのページの気になる一言をタイトルとして入れる。一般質問のページは議員の質問はより簡潔にし、執行部の回答を多く掲載するよう心がけてあった。あくまで議会広報であり、議員広報ではないことを前提としていた。芦屋町でも、目を引く表紙作りを心がけたい。

平成29年度町村議会広報研修会

3名の講師により、広報作成のポイントを教わった。まず、「伝える広報」から「伝わる広報」にするため、読みたくなる文章にする必要がある。そのためには、1文を短くし、イラスト等をいれることでビジュアルを良くする必要がある。

また、分かりやすくするため、書き方を構造化し、結論を先に書く。芦屋町でも、不必要の文字は省き、より伝わる広報を目指していきたい。

埼玉県小川町視察の様子

一般質問

行政視察レポート

産官学連携と6次産業化の具体的事業

日程：7月31日～8月2日

視察先：北海道 網走市議会・東京農業大学生物産業学部・ポートルースチケットショップ旭川ほか

視察者：田島憲道・妹川征男・刀根正幸・今田勝正

網走市

網走市は将来を見据え大学を誘致。市は40億円を投資、東京農大が1億円を負担しキャンパスが開設（1989）。大学の構内は、試験中でもあり静粛を保たれていたが、1800名程の学生が網走市に及ぼす様々な波及効果は計り知れないという。

東京農業大学生物産業学部

農大は6次産業の具体的事業としてエミューを研究。エミューはオーストラリアの国鳥で、世界で2番目に大きく、飛ぶことができない。病気や環境に強く、現地では神の鳥と崇められている。現在、1300羽を大学管理の牧場で飼育。高タンパク質で低脂肪な食肉や最高級の価値のあるオイルを利用した化粧品等、今後の産業化を目指している。芦屋町の耕作放棄地等の活用に網走市や東京農大で学んだことを活かしたい。

網走市視察の様子

視察関係

町かどインタビュー

4年前に正門町商店街に犬の美容室とDOGカフェ「arale」を開店されました。犬たちに囲まれ、スタッフの皆さんと毎日楽しく仕事をされているそうです。
店長の中西美穂さんに芦屋町の魅力について伺いました。

「arale」の中西美穂さん

Q 犬トリマーを目指したきっかけは？
A 家で犬を飼えなかったの
で、トリマーになれば毎日犬と
接することができ、好きなこと
が仕事になると思ったからで
す。

Q 芦屋町の魅力は？
A 自然環境が良いところで
す。海があるため、犬の散歩に
もすごく良いです。また、田舎

ならではの人と人とのつながり
が深いところです。

Q 商店街がもつと元気になる
ためには。
A まず、シャッター街をなく
したいです。商店街が暗いので
明るくしたいです。若い人たち
がもつと開業チャレンジできる
よう支援してほしいです。

Q 町の子育て支援について
は？

A 世間では、保育所に入れな
い待機児童が問題になってい
ますが、芦屋町にはその不安
が無いと思います。子育て支
援についてはこれからいろい
ろ知っていききたいです。

ドッグランの様子

Q 町政に今後期待すること
は？

A 犬の散歩時にマナーの悪い
人がまだ多いと思います。ペッ
トと一緒に住みやすい町づくり
を考えてほしいです。芦屋は
ペットマナーがよく住みやすい
町と思われたいです。ペット可
の町営などが増えるともっと人
口も増えると思います。命にや
さしい町にしたいです。

次回の定例会は12月8日開会予定です。

本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。また、本会議は役場1階ロビーでライブ中継をしています。

※日程は変更になる場合があります。最終決定は11月下旬に開かれる議会運営委員会で行われます。傍聴を希望する方は議会事務局にお問い合わせください。(TEL 223-3579)

議員控室

秋は実りの秋、行楽の秋、そして食欲の秋と言われるように、行政、地域、家庭において盛りだくさんの行事があり、忙しい季節です。言い換えれば、疲れやすい季節です。楽しく過ごすためには、健康が一番。多くの方々の絆を深め、ストレスをためないよう留意しましょう。
5月から広報委員となりました。皆さんのニーズに答え分かります、信頼される広報作りに努めてまいります。

刀根 正幸

【発行責任者】

議長 小田 武人

【議会広報常任委員会】

- 委員長 川上 誠一
- 副委員長 内海 猛年
- 委員 妹川 征男
- 委員 刀根 正幸
- 委員 今田 勝正
- 委員 松岡 泉